

## JA新潟みらい自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに  
JA新潟みらいは『総合事業』を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- 協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- 「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動と併せ、総合的に結びつけて取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、“地域農業の応援団”として准組合員に加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

⇒具体的な取り組みは、別記の中期経営計画や自己改革工程表をご覧ください。  
主な取り組みを以下により紹介します。

- 1. 園芸生産の拡大に向けた支援**（園芸品目生産拡大対策：予算額1,600千円）  
各地区の重点園芸品目の生産面積を拡大する生産者に対し支援を行います。
- 2. 担い手育成への支援**（農業経営者育成塾：予算額1,050千円）  
専門のコンサルタントを招き、担い手農家とJA職員が一体となった経営支援と相談機能強化の取り組みを行います。

**3. 安全・安心な農畜産物供給への対策**（残留農薬検査等：予算額3,827千円）

消費者に「安全・安心」な農畜産物を供給するため、残留農薬検査の実施や生産履歴読み取りシステム、生産日誌の作成を行います。

**4. 生産コスト低減への支援**（肥料農薬大口利用奨励金）

肥料農薬について供給金額100万円（税別）以上利用された農業者（法人含む）へ利用高に応じ奨励金の支出を行います。

**5. 魅力ある産地づくりへの支援**（土づくり支援：予算額5,000千円）

気象変動に強い農産物づくりをすすめるため、土づくり肥料8品目につき助成を行います。

**6. 地産地消への支援**（学校教育田の設置：予算額1,900千円）

次世代を担う子どもたちや一般消費者を対象に、「食」と「農」を結び、地域の食文化への理解を促し深めるため、地産地消調理実習を実施します。

**【今年度の総代会議案】**

**（第1号議案） 未来農業振興支援事業**

園芸の取り組みによる所得増大・生産拡大を支援するとともに、親元就農者への支援も行い、地域農業の持続的発展に取り組みます。

**（第3号議案） えだまめ共同選別施設の設置**

高齢化・労働力不足が一段と深刻化し、農業生産基盤が弱体化するなかで、個々の農業経営の安定と園芸品目の拡大・発展を目指します。

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りで、予算額は59,900千円となっています。

- ① 売れる米づくり強化策
- ② 園芸生産拡大・ブランド強化策
- ③ 品質向上対策
- ④ 畜産振興対策
- ⑤ 担い手対策 等